



# 三浦半島労福協ニュース

NO. 67

〒238-0006 横須賀市日の出町1-5 ヴェルクよこすか3F 三浦半島地域労働者福祉協議会  
発行人：中澤謙介 編集人：許斐正典、篠原恭久

2023年8月3日発行

## 2023三浦半島統一メーデー / 第25回定期総会での寄贈に感謝します。



4月27日(木) 18時30分開催の2023三浦半島統一メーデー及び、6月6日(火) 18時から開催の三浦半島労福協、第25回定期総会において、受付けに行いました『フードドライブ』に協力ありがとうございました。おかげさまで多くの食料品を集めることが出来ました。66号でタオル寄贈は報告しましたので、第67号ではフードバンクかながわへの食品寄贈を報告します。



～お米一合運動&フードドライブ活動で集まった、お米78点、211.1キロ、副食153点、55.6キロをフードバンクかながわに寄贈及び学習会開催!～



6月26日(月) 14時から、フードバンクかながわを訪れ、2023三浦半島統一メーデーなどで集めた食料寄贈及び体験学習会を12名の参加で行いました。

14時から食料寄贈を行い、2023三浦半島統一メーデー期間に集めた食料【お米211.1キロ・副食55.6キロ】を寄贈しました。

その後座学を行い、フードバンクかながわの設立経緯、ここまでの状況などの説明を受けました。設立して6年、新型コロナウイルスの影響もあり、食料に困っている方の増加にともない、想像以上のスピードで事業が拡大して来ていること、対応するた



めの苦労や工夫などを聞くことが出来ました。

座学学習後は体験学習会、三浦半島統一メーデーで持ち寄った食品の計量と仕訳をおこないました。

お米は様々な方の状況を確認出来るように1.5キロごとに小分けをする作業を行いました。



一方、お米以外の食品は仕訳を行います。まずは主食・副食・飲料などに分け、その後、賞味期限別に分けていく作業を約1時間半に渡り行い、16時過ぎに終了しました。今回もフードバンクかながわの倉庫は食料不足状態でした。このような体験学習会は単組でも実施出来ます。是非、開催し、フードバンクかながわへの理解を深めて、今後ご支援ご協力をお願いいたします。

# クリーンアップかまくら・大船駅東口コースに参加!!



5月28日(日) 10時から鎌倉市が主催する『クリーンアップかまくら・大船東口コース』に、三浦半島地域連合・労福協の役員を中心に33名参加し、市内清掃に協力しました。



に大船駅東口はJR東日本をはじめ、三菱電機や東レ・湘南モノレール・芝浦メカトロニクスなど三浦半島の多くの組織が日頃から利用し、お世話になっている駅になるため、このコースを行うことにしました。

三浦半島として受けを行った後は鎌倉市からの説明を聞いて、クリーンアップかまくらをスタート!



三浦半島以外の方も多く参加して、約1時間、皆さん配付された袋に一杯のゴミを収集しました。最後は鎌倉市の方とゴミ分別のお手伝いを行い、11時20分ごろにスタッフ7名で記念撮影を行って、終了しました。



## つながる・寄り添う・支え合う!を確認、福祉団体セミナー開催!



7月31日(月) 18時から、横須賀三浦教育会館2階ホールにて、会場48名、WEB18名の合計66名参加のもと『三浦半島労福協・地域連合共催の労働福祉団体セミナー』を開催しました。

冒頭、中澤会長からは福祉団体が設立された経緯や必要性を再認識し、『つながる・寄り添う・支え合う』の精神のもと設立された労働福祉団体を会員サービス向上のためにも、有効に活用してほしいと挨拶がありました。

その後セミナーをスタートして、ろうきんから価格高騰を続ける住宅購入の際の『住宅ローン基礎講座』の説明があり、人生で一番の高額ローン、正しい知識をつけるためにも、是非とも各組織でも同様のセミナーの開催を訴えました。

次にこくみん共済coopからは多発する自然災害への備えの重要性を東日本大震災や2018年の台風21号の事例を交えて訴えかけ、今後の南海トラフ地震や首都直下型地震に対して共助の限界と自助の強化の必要性を説明しました。

最後に及川議長から、一生に一回といわれるマイホーム購入について住宅価格高騰による自社での状況に触れ、高額なローン、そして購入後の保証など労働福祉団体の活用をお願いし、セミナーを終了しました。



ろうきんの住宅ローン基礎講座



こくみん共済から災害の備え!